



研究テーマ

1 関係人口創出・拡大のための測定及び評価、モデル開発

2 地方企業・団体のDXによる生産性向上に関する研究

3 地域課題・社会課題解決型（ソーシャル）ビジネス開発・創出・成長支援



土屋 有

つちや ゆう
地域資源創成学部

准教授

キーワード

マーケティング、ソーシャルビジネス、デジタル・トランスフォーメーション、デジタルマーケティング、関係人口、消費者行動分析、社会起業家、ソーシャルイノベーション、アントレプレナーシップ、起業家精神、イノベーション、創業支援

特許情報・
共同研究・
応用分野など

I. 共同研究

1. 行動データを活用した関係人口創出に関する指標開発（ヤフー株式会社共同研究）
2. 延岡市を中心とした宮崎県北における産業可能性の探求（受託研究：一般社団法人延岡観光協会）
3. 宮崎県の観光動向調査・研究（受託研究：宮崎県）
4. 宮崎版DMO構築へ向けた宮崎訪問動機調査・コンタクトポイント分析（受託研究：宮崎県）

II. 応用分野など

1. 新型コロナウイルス感染拡大による宮崎県観光客の心理・行動変容- Yahoo! JAPAN 「DS. SINSIGHT」による分析-

研究概要

近年のスマートフォン等モバイル・デバイス及び通信環境の整備、及び新型コロナ感染拡大によるライフスタイル、ワークスタイルの変化を含め、“ネットワーク化された技術を利用することにより、モノ/サービス/情報/知識の伝達と交換を効率的に行うこと”を可能とするデジタル・トランスフォーメーション(DX)を基盤とするデジタルマーケティング)の利活用による、低収益、非効率、低生産性など企業・団体が抱える課題解決が可能となっています。企業及び地域などが抱える課題についてDXを前提としたデジタルマーケティングを活用した事業モデルを構築することで、持続可能な形で解決する手法を研究しています。

1 関係人口創出・拡大のための測定及び評価、モデル開発

関係人口の創出(関心・関与)度の向上施策に関してマーケティング視点からの測定・評価を行い、各地域における応用活用が可能な手法モデルの研究・開発に取り組んでいます。これらにより自治体経営における具体性ある戦略立案・実行が可能となり効率的経営の実現を目指しています。

2 地方企業・団体のDXによる生産性向上に関する研究

企業・団体の経営理念及び事業目標実現に向けた、事業構造の構築及び改善の手段としてのDX、ICT利活用による、業務オペレーションコストの最適化及び既存顧客・見込み顧客との最適なコミュニケーション戦略を中心としたマーケティングに関する研究。

3 地域課題・社会課題解決型（ソーシャル）ビジネス開発・創出・成長支援

社会的課題である事象に対して、“社会性”“事業性”“革新性”の3点を持ち合わせたビジネスモデルにおいて、DX、デジタルマーケティングを活用することで、立ち上げ及び成長を成功へ導くモデル作りを行っています。ICT利活用によるデジタルマーケティング領域は事業モデルのみではなく、事業モデル構築に必要な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報に関わる領域を対象としています。また、研究対象組織については、スタートアップ企業などの立ち上げ準備から起業間もないフェーズから、大企業における新規事業及びCSR的な事業、行政による取組、NPO・NGO等による取組までを対象としています。

また、「宮崎・学生ビジネスプランコンテスト」の企画・運営統括として地域における創業支援プログラム開発・運営等アントレプレナーシップ教育にも取り組んでいます。

ホームページ

土屋研究室

<https://sites.google.com/view/tsuchiya-lab/>

技術相談に応じられる関連分野

- ・企業経営におけるICT利活用・DXによる事業立ち上げ、成長戦略、事業再生
- ・ソーシャルビジネスにおけるマーケティング戦略

メッセージ

2021年において、民間企業、スタートアップの取締役を複数社兼務しながら、実際性ある研究・教育に取り組んでいます。企業・事業立ち上げ、M&A、IPO、事業再生など、企業経営全般の実績があるため、実際性の高い共同研究や対応が可能です。お気軽にご相談、ご連絡